



まがたま

第75号 平成26年12月10日
練馬区立豊玉中学校
〒176-0014 練馬区豊玉南 2-1-20
tel 03(3994)1451 fax 03(5984)2461
E-mail info@toyotama-j.nerima-tyky.ed.jp
URL <http://www.toyotama-j.nerima-tyky.ed.jp>

人生の節目を刻む…!

校長 い だ むねひろ
井田 宗宏

陰暦12月を「師走」と言います。「師馳せ月」（しはせづき）から派生したものであり、この言葉の数ある語源説の中で、「師」とは「僧」であり、「師匠の僧がお経をあげるために東西を馳せる月」と解釈するのが最も有力なものと言われています。

最近の教師は、12月ばかりでなく1年中忙しいという感もありますが、確かに12月は、通常の授業や部活動などの指導に加え、定期考査や成績に関する事務処理、面談のための資料作成、年末・年始の準備、また3年は進路指導のための会議や関連事務など、多忙感にあふれています。

この時期になると、生徒たちの気持ちも緩みがちになります。授業に身が入らなかつたり、思わぬ事故が発生したりするのもこの時期に起こりがちです。生徒たちが落ち着いて安定した学校生活を送るために、ゆとりを持ち一人一人の生徒を大切にし、接していきたいと考えています。

この1年、皆さんのご家庭ではいかがでしたでしょうか。先月、学校では「ふれあい月間」に関わり、思いやりの心やあいさつについて真剣に考えたり、「クリーン運動」週間を設け、落ち葉を掃いたり、生徒全員で校舎内外の美化に努め、全校体制で意欲的に取り組んでまいりました。

朝礼では「いじめにまで至らなくても嫌がらせなどをしていませんか。」「周辺で暴力行為等を目撃したら、皆さんが中に入ることが難しい場面もありますので、すぐに先生方に連絡をしましょう」と生徒に訴えかけました。校内で生徒の表情を見ていますと、明るく純朴な姿が多く見受けられますが、内在している悩みなどは誰にでも付きものです。アンテナを高く張って、ささいなシグナルでも見逃さないように取り組んでいます。ご家庭でもお気づきのことがございましたら、遠慮なく申し出ただけければと思います。

3年生の生徒を対象に面接練習も始まっています。私にとり、一人一人の生徒と向き合い、真剣に話が出る貴重な場面になります。「どうしてこの高校を受験するのですか」という問に対して、スムーズに心から応えられることが大きなポイントと言えます。自分を素直に表現することが、緊張した場面では何よりも大切になります。

先日、開催されました東京都中学校英語学芸大会に練馬区代表として本校は出場しました。六十年以上の歴史のある大会で、常連校が多く参加する中で、健闘いたしました。練馬区中学校英語学芸会、本校の学習発表会と経験を積むたびに、表現力が向上してきました。またそれを支えるスタッフの活動も見事でした。今回の取組を通して、学校全体が英語学習に立ち向かう意欲が高まってきたことを実感いたしました。

ともするとだらけてしまうのが私たち人間かも知れません。そんな時、人生に節目を刻み、けじめとしていくことが、昔から人間の知恵としてありました。新年を迎えることは、一つの節目です。この時に、ぜひ新たな決意を胸にしてほしいものです。

最後に、今年も様々な出来事がありました。本校はお陰様でたいへん落ち着いた状況で、保護者、地域の皆様に支えられ、教職員が一丸となり取り組む態勢が出来つつあります。まだまだ課題は残されておりますが、皆さんのご理解ご支援のもと、改善に向け努力を続けます。明るく輝かしい新年を迎えられることを祈念するとともに、本校の更なる発展のために今後とも何とぞよろしくお願いいたします。

自ら希望の進路を拓こう!

■年が明けると、いよいよ3年生の受験が始まります。自らの進路希望の実現に向けて、もう一踏ん張りです。3学年の進路担当の先生に応援メッセージをいただきました。

『 3か月の時間 』

3学年進路担当 徳原 正枝

3年生は受験がいよいよ目の前に迫ってきました。先日、卒業生が「今勉強しないと本当に後悔する」という言葉を3年生に残していきました。時間は止まってはくれません。その時、その時、やるべきことは山ほどあります。今やるべきことを全力で取り組んでいくことがゴールへの近道です。受験、三送会、そして卒業式に向けて、全力で一日一日を過ごしていきましょう。

小中一貫教育グループの2年間のまとめに向けて!

■12月10日に、豊玉小学校と豊玉南小学校、豊玉中学校で小中合同研修会を実施します。

『 進む3校の連携 』

小中連携クリエイター 柳井 理恵子

練馬区小中一貫教育研究校として、豊玉小・豊玉南小学校との連携が始まって2年目です。今年度、中学校教員が小学生に授業をする「乗り入れ授業」、中学生が小学生の補充教室のお手伝いをする「リトルティーチャー」という新しい取り組みを行いました。どちらの取り組みも成果をあげ、特に「リトルティーチャー」では小学生の皆さんから「わかりやすかった」「優しく教えてもらえた」との感想が寄せられました。中学生も「教えることが自分の勉強になった」と良い経験ができました。来年度もさらに連携を進め、豊玉地区の子どもたちがより良い学校生活を送れるようにしていきたいと考えています。

生徒会活動がますます充実してきました!

■生徒会が中心となった地域ボランティアや地域イベントの呼びかけ、全校朝礼での生徒会活動をPRする映像や音楽を用いたDVDの作成など、更に生徒会活動が充実してきました。

『 新生 生徒会に期待 』

生徒会担当 桑原 宏一

2年生が中心となり、新たな豊玉中生徒会が発足して2か月が経とうとしています。これまで3年生が築いたものに加え、新しい風を吹かせようと奮闘中です。各委員会が様々な企画を成功させるために、準備期間や方法、担当者の確認など、細かい所まで話し合っています。あとは、協力する人がいなければ成功しません。生徒が一丸となる豊玉中生徒会を期待します。

『 私たちの当たり前を世界へ 』

生徒会会長 伊藤 優花

毎年この時期に行われるのがユニセフ募金活動です。ユニセフ募金をする意味、それはたくさんさんの意味をもちますが、皆さんは自分たちの「当たり前」を考えたことがありますか?住む家がある。1日3食満足に食べることができる。行く学校がある。そんな当たり前があり得ない子どもたちも世界にはいるのです。私たちの当たり前を世界へ発信しましょう。よろしくお願いします。

「職場体験」で働くことの尊さを学びました!

■2学年で11月末に職場体験を行いました。学年担当の教員も激励に駆けつけました。

『 2年生職場体験を終えて 』

2学年職場体験担当 野井 信子

前日の雨が嘘のような好天に恵まれた11月27・28日、2年生の職場体験が実施されました。夏休み中から準備を始め、事前学習や体験させていただく事業所との調整を何度も重ね、やっと、この日を迎えました。それぞれの事業所で、どの生徒も真剣に取り組みました。職場体験を終え、終了の報告をする生徒たちの表情はみんな生き生きと輝いていました。この体験を通し、働くことの厳しさ、楽しさを学んだことと思います。ご協力いただきました保護者の皆様、地域の多くの事業所の皆様に心よりお礼申し上げます。

